

令和 6 年度 自己評価結果公表シート 健生ナーサリー

1. 保育園の保育目標

- | |
|--------------------|
| ①健やかな発達と健康 |
| ②教育（幼児教育） |
| ③身辺自立（ルール・マナー・社会性） |

2. 本年度取り組む重点目標

保育 内容	① 【目指している卒園時点での園児の姿】を念頭に置いて、子ども達の健全な発達と発達を踏まえた保育を展開する。
園運営	② 子ども達も保育者も主体的に園での生活や活動を楽しむ
	③ 職員全体の資質向上を目指す。

3. 重点目標達成に向けての具体的な計画

保育 内容	① 健康、安全な生活が送れるよう、保育者同士のチームワーク向上とスキルアップを目指す。
園運営	② 子ども達が主体的に活動や遊びに取り組める環境を作る
	③ 保育者同士がお互いをリスペクトし、認め合う雰囲気を作りながら、それぞれの得意分野を伸ばしていく

4. 重点目標の達成及び取組状況

A：十分達成されている B：達成されている C：取り組まれているが、成果が十分でない

D：取り組まれていない

評価項目	結果	理 由
①	C	安全対策についての職員全体の認識や理解に個人差が見られる。
②	C	職員の【主体的】という事への認識をすり合わせて、同じ目的や目標に向かえていない場面がある。
③	B	様々な活動を職員が協力して展開していく事で、お互いの得意分野を理解して、上手くサポートし合える環境と雰囲気を作り出すことができた。

5. 総合的な評価（児童 12 名：10 世帯）

評 価 項 目	評 価 内 容
運動会アンケート 回収率： 50%	【評価】 - 保護者は『楽しく参加できた』という反面、子どもは『どちらともいえない』という回答が多かった。 - 保護者と離れて参加した 2 歳児に対しては、主体的な姿が見れて良かった。という意見もあった。

	【課題】 ・ 初めての場所や保護者と一緒にいう事で、いつもの姿が発揮できない子もいた。 ・ 1部2部とで兄弟が分かれてしまうと、参加していない子を連れての観覧が大変そうだった。 【改善策】 ・ 毎年困っている保護者が居るので、兄弟の保育は必須。保育場所を確保して実現する。 ・ 1部では、待ち時間をできるだけ少なく出来る様な競技内容を考え工夫していく
作品展アンケート 回収率： 80%	【評価】 ・ 作品作りの様子を写真や文章で掲示した事で、楽しそうな様子を見る事ができた。という意見が多かった。 ・ 作品数はまだ少なかったが、個人の作品ファイルも展示したが好評だった。 【課題】 ・ 金曜日午後から土曜日午前中の展示としたが、土曜日午前中の来園者は少なかった。 【改善策】 ・ 土曜日の展示をもう少し告知しても良かった。土曜日の来園が少ないようなら、展示期間を再考していく。
保護者アンケート 回収率： 60%	※別添アンケート結果参照 【評価】 ・ 保育者と子どもの関係や毎日の保育について、入園時の対応、個人情報の取り扱い、給食について等の質問については、『そう思う』の回答がほとんどだった。 ・ 日常の保育の様子を伝える面については、もう少し工夫が欲しいという意見もあった。 【課題】 ・ 個人情報に配慮しながらも、園だよりや写真の掲示など、日々の保育を保護者に伝えていく方法を具体的に考えていく必要がある。 【改善策】 ・ HP等を有効的に活用して子ども達の様子を可視化して発信し、保護者と一緒に子どもの成長を喜び合える関係を構築していく。
くまのこ会 アンケート 回収率： 100%	※別添アンケート結果参照 【評価】 ・ 場所や内容については、『大変良かった』という評価がほとん

	どだった。 【課題】 ・ 個別支援が必要な子も多かったため、児童発達支援の指導員と協力して準備や対応等を行なったが、お互いの状況理解に確認不足があった。 【改善策】 ・ 発達支援室との情報共有を密に行えるようにスケジュールを調整しつつ、状況把握と協力を柔軟にしけるように意識する
給食アンケート 回収率： 100%	※別添アンケート結果参照 【評価】 ・ 家庭での食事で困っている事などの意見を収集する事ができ、毎月の給食だよりや献立表を参考にしてくれている家庭も多かった。 ・ 実際に提供されている給食の写真や食べている様子を知りたいとの意見もあった。 【課題】 ・ 家庭での食事の場面で、保護者が困っている事の解決策等が具体的に見つかる様な発信ができるようにしたい 【改善策】 ・ HP や『給食だより』等に給食の時の様子や行事食等の写真を掲載するなど、保護者が見て参考にできる状況を作っていく
自己評価（園用）	【評価】 ・ 環境整備や安全対策に対して職員の意識は高かったが、実行面ではまだ改善が必要だと感じる。 ・ 保護者支援の面では、自信を持って対応できる職員が育っていない 【課題】 ・ 安全対策に関して、より職員の意識向上を図る ・ 自分の保育に誇りを持つ事で、自信を持って保護者対応をしている職員を育成する。 【改善策】 ・ 保育の知識を実践に生かす事で、職員自身が保育を楽しみ、それを保護者等に発信したいと思える場面を増やしていく

6. 今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
【主体的】について、職員同士で意識をすり合わせて行く事で、同じ方	自分の知識を実践と照らし合わせていける様に、職員全体で保育の振り返りや反省点を具体的に考

針で保育を進めていく	えていく機会を多く持つ。
職員の資質向上を目指す	保育所保育指針の理解を基盤に、各研修を積極的に受講しながら、職員全体での勉強の場を増やしていく
職員も【主体的】に楽しく働ける場にする	毎日の保育の中で職員自身が『やってみたい事』引き出しながら、子ども達と職員と一緒に楽しめる環境を整えていく